

2021年度 第48回 こくみん共済 coop 小学生

# 作品コンクール

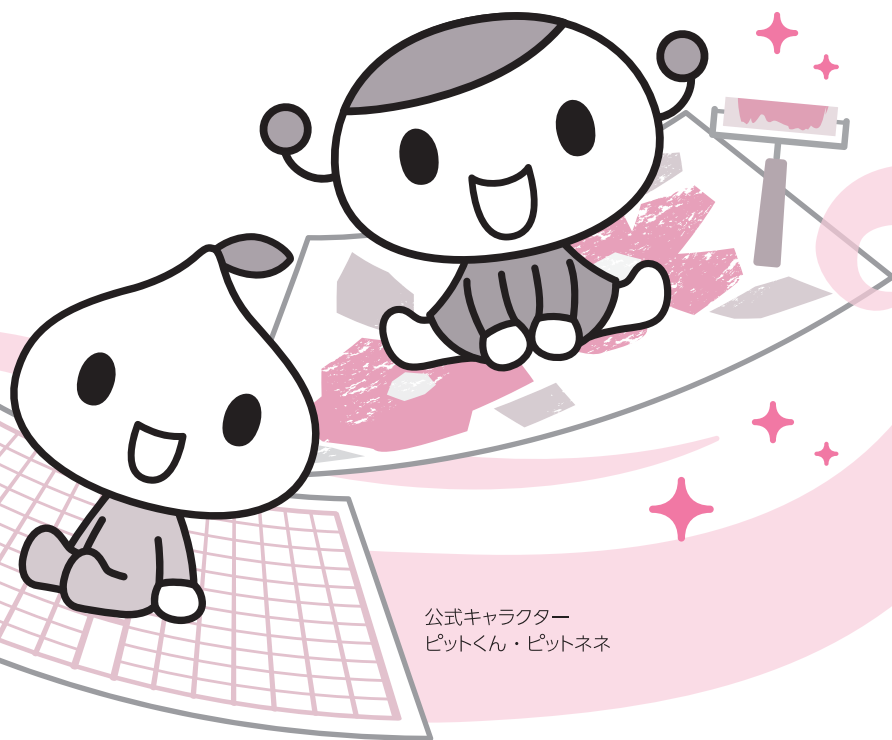
★ 「作文」と「版画」作品募集のご案内 ★

締切日

2022年1月7日(金)必着

テーマ

作文 ● 新しく見つけたこと・  
気づいたこと  
版画 ● 自由課題



公式キャラクター  
ピットくん・ピットネネ

たすけあいの輪をむすぶ

主催 **こくみん共済** 〈全労済〉

全国労働者共済生活協同組合連合会 **coop**

子どもたちの元気で素直な作品を楽しみにしています。  
たくさんのご応募をお待ちしています。

こくみん共済coop 関東統括本部 統括本部長 高須 則幸



こくみん共済coopは、営利を目的としない生活協同組合として、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざして共済事業を営んでおります。また、共済事業に加え、豊かで安心できる社会を実現するために、社会貢献活動や教育文化活動にも取り組んでおります。

さて、こくみん共済coop関東統括本部と各推進本部（茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川・長野・山梨・静岡）では、社会貢献活動の一環として、子どもたちの豊かな心の成長を願い、1973年から小学生を対象に作文・版画のコンクールを開催しております。このコンクールも今年で48回目を迎えます。2019年の第47回コンクールには、214校の小学校から9千点を超える作品応募をいただき、コンクールを開催することができました。これも校長先生をはじめとする先生方、関係各機関の皆さまのご支援・ご協力の賜物と厚く御礼申し上げます。

残念ながら昨年は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、コンクールの開催をやむなく延期いたしました。本年は、各都県の教育委員会とNHK各地方局等のご後援をいただき、新型コロナウイルスの完全な収束前ではございますが、児童の皆さまの作品を募集させていただくこととなりました。つきましては、児童の皆さまからの創意あふれる作品のご応募を心よりお待ちしております。おりますので、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

※後援につきましては予定も含みます。

## 作文の部 「新しく見つけたこと・気がついたこと」

立ち止まり、  
感じ、考え、見つめる時



（少し難しい言葉を使っている箇所もあります。意味がよくわからないところは保護者や先生と話して理解をしてください）

作家・子どもの本専門店クレヨンハウス主宰 落合 恵子

お元気ですか？ 元気できてください。  
誰かのことを思いだす時、まずは心から思うのはそのことです。今までのどんな年よりも、どんな時よりも、そのことを折るように思うわたしがいます。  
このコロナ禍、この夏もわたしたちはマスクと共に過ごすことになるのでしょうか。このメッセージがあなたのもとに届く頃、社会はどんなふうになっているのでしょうか。  
遠い昔、わたしが子どもだった頃、真夏のおともといえ、麦わら帽子でした。こう書いているだけでも、陽に焼けた麦わらの匂いや、風に飛ばないようにあごのしたにかけたゴムヒモの感触までよみがえってきます。

## 版画の部 自由課題

それでも  
子どもは絵や詩をかく



特定非営利活動法人市民の芸術活動推進委員会 理事長 鈴石 弘之

チエコの首都プラハから、車で北へ走ること約1時間。そこは人口3000人ほどの小さな町「テレージーン」です。第二次大戦中に、ナチスはここに強制収容所をつくりました。大人にまじって14歳以下の子ども達も15000人ほどが収容されていました。しかし生きて帰ってきたのは100人ほどだったといわれています。1945年5月7日に解放されたとき、焼き残された紙包みの中から4000点の絵が発見されました。また、42編の詩も同時に発見されました。収容所の中にあつて、過酷な生活を強いられたにもかかわらず、勇気のある大人たちがこど

遊び友だちと、自分の背丈ほどもある夏草をかきわけながら走る時も。畑にトマトやナスを朝いちばんにとりに行く時も。

海辺の朝。潮だまりで花が咲いたように揺れるイソギンチャクと鮮やかな色の小魚たちを発見する時も。浜辺に打ち寄せ白いレース模様の波を追いかける時も。いつだって麦わら帽子がおともをしてくれました。

過ぎ去った日々のおもい出の中にも、こんな風に「見つけること」や「気づくこと」があります。

どこにも行けないから、テーマが見つからない？ いえ、こんな時だから「新しく見つけたこと・気づいたこと」があるはずだし、大事だと、このコンクールを主催するひとたちは考えたのしょう。

「新しい発見とはおうおうにして、そこに在りながら、光が当たらなかったものに新しい光を当てること」だと記したひとがいました。まさに、そうなのだと思います。

マスクは正直、息苦しいし、暑いし、うっとうしいです。思いっきり走り回ったり、自由に飛び跳ねたり、離れて暮らすお祖父ちゃんやお祖母ちゃんのところに行ったりすることもむずかしいことになってしまいましたが……。

それでも、おうち時間の中でも見つけること、気づくことがたくさんあるはず。もし、あなたがそうと望み、立ち止まったり、見つめたり、見つめる角度を変えた時、見えてくるものもがきとあります。

わたしはおうち時間が増えてから、早朝の散歩をしています。午前6時。洗面をすませ、スニーカーを履いて外に出ます。玄関先で軽く身体を動かしてから、少し速足で45分ぐらい歩きます。

「おはようございます」すれ違うひとが声をかけてくれます、「今朝もお元気ですね」。多くは名前も知らないひととの、朝の挨拶です。

犬といっしょのひとにも会います。ハナ、ロジャー、タロウ、サラ、ちくわ等という名の犬もいて、そのうちの半分は保護犬だそうです。犬の名前は知っているのに、飼い主さんの名は知らない場合もあります。

朝の散歩を終えると、小さな庭の水やりです。6月半ばを迎えようとしているいま、向日葵の苗が育っています。朝顔、夕顔もツルを伸ばしています。

……といったふうに、わたしたちの身近には「発見」される時を待つ、たくさんさんのモノやコトがあります。

「考え」「見つめる」時間を大事にし、あなたでしか書けない作品をうみだしてください。

ものために絵画教室や詩の教室を開いていたといいます。

なれつこになった

：ぼくたちは朝の7時、おひるの12時、それから夜の7時に、お椀を手にとって、長い列に立っていることになれつこになった。塩っぱい味か、コーヒーの味のするなまぬるいお湯か、ジャガイモを少しばかりもらうためだ。僕たちはベッドなしで寝、制服を着た人には一々あいさつをし、歩道をゆずり、そのあとから歩道を歩くことになれつこになった。ぼくたちはわけもないのにピンクをくったり、なぐられたり、処刑されたりすることになれつこになった。……。

これは、ペトル・フィシルという男の子が書いた詩です。今から70年前に起こったことを私たちは忘れてはなりません。20世紀は戦争の世紀とも言われます。しかし、21世紀になった今も、ミャンマーやパレスチナで戦争が起こっています。そして、子ども達も犠牲になっているのです。人間の愚かさはいつになったら是正されるのでしょうか。

コロナ禍にあつて世界中の人々が行動を制限され、尋常でない生活を余儀なくされています。私たちの日本でも、そして、学校でも、密接を避けながらの生活を送らなければならない子ども達も、密接を避けながらの生活を送らなければならない子ども達です。ワクチン接種が地球の全ての人々に行き渡ったとき、ようやくコロナも終息にむかうのではないかと思います。そして、子ども達も押しくらまんじゅうなど、くんずぼぐれつして遊び回り、大声を出して歓声をあげる、子どもの領分が一日も早く蘇ることを祈るばかりです。

さて、こんな折りですが、テレビジョンの子ども達ではありませんが、絵を描いたり文章を書いたりする創造活動は生きる証の生命行為なのだと思います。そしてまた、希望をそこに子ども達は託しているのではないでしょう。作品コンクールももうやく再開です。子ども達の健やかな成長の証の作品が沢山集うことを心より希望するものです。

第48回 こくみん共済 coop  
小学生 作品コンクール

お う ぼ よ う こ う  
応募要項

応募締切日  
2022年1月7日(金) 必着

応募資格

茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、長野、山梨、静岡の各都県にお住まいの小学生

部 門

「作文」、「版画」の2部門

テーマ

◎作文：「新しく見つけたこと・気づいたこと」  
◎版画：「自由課題」

賞

●中央コンクール

最優秀賞…各部門各学年1名

優 秀 賞…各部門各学年2名

●各都県コンクール

金 賞…各部門各学年1名

銀 賞…各部門各学年2名

銅 賞…各部門各学年5名

※このほか、各都県独自賞があります。

※応募作品数などの影響により、各賞に該当する作品がない場合もあります。

審 査

- ①各都県ごとに「都県コンクール」を行い審査します。
- ②「都県コンクール」で選ばれた金賞作品を「中央コンクール」で審査します。

審査員

●中央コンクール

作文の部：落合 恵子先生  
(作家・子どもの本の専門店クレヨンハウス主宰)

版画の部：鈴石 弘之先生  
(特定非営利活動法人市民の芸術活動推進委員会理事長)

両 部 門：高須 則幸  
(こくみん共済 coop 関東統括本部 統括本部長)

応募方法

次の要領で、こくみん共済 coop 各推進本部「小学生作品コンクール事務局」へ出品カードを添付してお送りください。

◎作文：400字詰原稿用紙で5枚以内。

◎版画：木版、紙版などを問わず、大きさはB4(257ミリ×364ミリ)以上でA2(420ミリ×594ミリ)以内。必ず台紙に貼ってください。

\*作品はいずれも自作・未発表のもので、2021年4月以降に作成されたものに限ります。入賞作品の著作権は、こくみん共済 coop に帰属します。なお、応募作品は返却いたしません。

\*応募は、作文、版画それぞれ1人1点ずつまでとなります。

応募締切日

2022年1月7日(金) 必着

発 表

●都県コンクール 1月下旬予定

●中央コンクール 2月下旬予定

入賞者につきましては、学校および本人に通知いたします。

表彰式

中央コンクール入賞者を対象に、2022年3月上旬に行う予定です。

\*新型コロナウイルスの感染状況により、表彰式の開催中止もしくは開催形態を変更させていただく場合があります。

応募上のご注意

- 学校・学年・クラス単位でまとめて応募してください。
- 個人での応募も可能です。
- 出品カード・出品名簿が足りない場合はコピーしてお使いください。
- 出品カードに必要事項を記入し(フリガナをお忘れなく)、しっかりとりづけしてください。  
(作文は最終ページ裏の右上、版画は裏の右下)
- 出品名簿には学年ごとの応募点数も記入してください。
- 入賞作品(小学校名・入賞者氏名)につきましては、当会発行の刊行物およびホームページ等に掲載させていただきます。

作品の送付・お問い合わせは、下記のこくみん共済 coop 「小学生作品コンクール事務局」まで

茨城推進本部 〒310-0804 水戸市白梅1-1-10 ☎029-227-6642

栃木推進本部 〒321-0963 宇都宮市南大通り2-5-4 ☎028-680-7830

群馬推進本部 〒371-0854 前橋市大渡町2-3-3 ☎027-252-0467

埼玉推進本部 〒338-8504 さいたま市中央区下落合1050-1 ☎048-822-0648

千葉推進本部 〒260-0045 千葉市中央区弁天1-17-1 ☎043-287-8142

東京推進本部 〒160-0023 新宿区西新宿7-20-8 ☎03-3360-6140

神奈川推進本部 〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-4-9 ☎045-473-3400

長野推進本部 〒380-8710 長野市立町978-2 ☎026-235-6139

山梨推進本部 〒400-0031 甲府市丸の内3-29-11 ☎055-237-6861

静岡推進本部 〒420-0839 静岡市葵区鷹匠2-13-4 ☎054-254-0107





# 第47回入賞作品

作文の部

最優秀賞

## わたしの手帳

千葉県・国府台女子学院小学部・二年 西口 心結さん

わたしの手帳

国府台女子学院小学部 二年

西口 心結

わたしのお母さんはいつもすてきなスケジュール帳を持ち歩いています。

それはとても大きく、かわいいピンク色のカバーで、三色ペンがついています。ペンはペンのあたまにうバーがついていて、そこで書いたたりしてしています。

手帳にはおしごとのことや、わたしの学校のこと、家ごとみんなのよていなどたくさん

ことが書かれています。わたしはか、こいいなあと思ひ、お母さんに「わたしも手帳をつけてみたい」手帳がほしい。

とおねがいました。

そ、文ぼう具やさんでかわいい手帳を買、てもらいました。

わたしはお母さんのまねをして、わたしだけの手帳をつけはじめました。

まず、カレンダーにならいうごとのスタンプを押して、よていを書いていきます。ほかにおでかけや学校の行じなど、わすれてはいけないよていも書いていきます。

わたしは手帳を開くだけで、わくわくします。なぜかと言うと、これからどんな楽しいことがあるかなあと思うだけでドキドキするからです。

よていがおわると、たのしか、たでぎごことやえいがをみたかんそうも書きます。

わたしはバレエをなら、ているので、バレエの先生に

「レッスンのことを日記につけるといいね。教えたことをわすれないように書くことがだいじですよ。」

とアドバイスしてもらいました。

あたらしく教えてもらったことやちういせられたこと、にが手なことを書くようにしたらバレエが上手にな、てきました。

なんども手帳を見かえすよにな、て、気を

つけるようにな。たからだと思えます。

そして、今まではお母さんによていを聞いていたけれど、いちいちお母さんに聞かなくても自分で行動するようになりました。少し大人にな。た気分でした。そんなわたしを見てお母さんは、

「とてもきれいに書けているね。それに、やなくてはいけないことを自分でやるようにな。て、おねえさんだね。よていを自分でかんりできるようにな。たんだよ。」

と言。てくれました。自分では気づかなか。たけれど、字も上手にな。たのだと思います。

さい近は、お母さんのように、わたしも手帳を持ち歩くようになりました。おでかけの時に、電車の時こくを書いたり、かくにんしたり、書いておくよべんりなことも気づきました。

また、あたまの中で考えているとわすれてしまうので、文字にしてのこすことはよいことだなあと思いました。

このまえ、学校で「あこがれのしゅくぎふ」について、しゅべ学しゅうをしました。あこがれのしゅくぎふにつくためにはどうしたらよいかを考えていたら、毎日大切にすぎふこと、夢に近づくためには何をしなければいけないか、目ひゅうも書いてみました。手帳はただ書くだけでなく、「なりたい自分になれる」と思いました。

手帳をつけて、もうすぐ一年です。

いろいろ発見ができて、一年をふりかえり、はんせいもできました。自分の夢につながるように、これから書きつづけたいと思います。あたらしくちゅうせんした「わたしの手帳」は、「未来への一歩」です。



## 第47回入賞作品

### 作文の部 最優秀賞

ぼくのびょうき

栃木県・那須塩原市立大山小学校・三年 堀田 奏音さん

貯金とひみつとプレゼント

山梨県・山梨学院小学校・三年 白戸健太郎さん

Let's try! 韓国語

静岡県・静岡サレジオ小学校・四年 飯山 杏菜さん

料理で人を笑顔に出来るなら

千葉県・国府台女子学院小学部・五年 野瀬 乃愛さん

更に向こうへチャレンジを

群馬県・群馬県立聾学校・六年 高橋 紫さん





# 第47回入賞作品

版画の部

最優秀賞



## 大きなか

千葉県・市原市立国府小学校・一年

板橋 湊さん



## 大空をりゅうとおさんぽ

静岡県・中央区立宇佐美学園・三年

渡辺 悠仁さん



## ジャングルでのぼうけん

埼玉県・羽生市立新郷第二小学校・二年

藤倉 匠汰さん



おかあさんが大好きなりく

東京都・瑞穂町立瑞穂第四小学校・五年

佐々木 蓮さん



たいくつだなー

長野県・駒ヶ根市立中沢小学校・四年

竹村 圭史さん



日光の光

千葉県・流山市立流山北小学校・六年

青木 百実さん



## 第47回こくみん共済 coop 小学生作品コンクール 応募小学校・教室一覧（順不同）

### 茨城

かすみがうら市立上佐谷小学校 つくば市立要小学校 水戸市立鯉淵小学校 水戸市立堀原小学校 茨城県立水戸聾学校 茨城県立友部特別支援学校 境町立猿島小学校 境町立静小学校 桜川市立雨引小学校 鹿嶋市立三笠小学校 取手市立高井小学校 小美玉市立堅倉小学校 城里町立七会小学校 常総市立飯沼小学校 常陸太田市立金砂郷小学校 常陸大宮市立緒川小学校 神栖市立息栖小学校 石岡市立関川小学校 石岡市立吉生小学校 石岡市立三村小学校 石岡市立杉並小学校 石岡市立東小学校 石岡市立東成井小学校 石岡市立恋瀬小学校 筑西市立古里小学校 潮来市立延方小学校 潮来市立牛堀小学校 東海村立中丸小学校 日立市立成沢小学校 鉾田市立旭東小学校 鉾田市立鉾田北小学校 つくば市立春日学園義務教育学校 つくば市立学園の森義務教育学校 稲敷市立阿波小学校

### 栃木

鹿沼市立みなみ小学校 鹿沼市立加園小学校 宇都宮市立横川東小学校 宇都宮市立横川西小学校 真岡市立久下田小学校 野木町立南赤塚小学校 那須塩原市立大山小学校 宇都宮市立富士見小学校 宇都宮市立田原小学校 宇都宮市立豊郷北小学校 大田原市立薄葉小学校 日光市立大桑小学校 日光市立今市第三小学校 鹿沼市立永野小学校 下野市立薬師寺小学校 宇都宮市立平石北小学校 宇都宮市立横川中央小学校 日光市立清滝小学校 鹿沼市立清洲第二小学校

### 群馬

前橋市立桃井小学校 高崎市立中川小学校 高崎市立北部小学校 高崎市立寺尾小学校 高崎市立堤ヶ岡小学校 桐生市立南小学校 太田市立宝泉東小学校 太田市立南小学校 富岡市立小野小学校 富岡市立吉田小学校 安中市立東横野小学校 東吾妻町立岩島小学校 長野原町立第一小学校 長野原町立応桑小学校 群馬県立聾学校

### 埼玉

神川町立神泉小学校 さいたま市立下落合小学校 さいたま市立仲本小学校 羽生市立新郷第二小学校 戸田市立新曽北小学校 三郷市立新和小学校 三郷市立吹上小学校 川越市立高階南小学校 川越市立中央小学校 川口市立戸塚綾瀬小学校 川口市立芝西小学校 川口市立青木中央小学校 草加市立高砂小学校

### 千葉

市原市立ちはら台桜小学校 山武市立南郷小学校 千葉日本大学第一小学校 国府台女子学院小学部 市原市立海上小学校 市原市立菊間小学校 市原市立国府小学校 市原市立清水谷小学校 市原市立牧園小学校 市原市立養老小学校 聖徳大学附属小学校 千葉県立千葉聾学校 筑波大学附属聴覚特別支援学校 野田市立山崎小学校 流山市立流山北小学校 幕張インターナショナルスクール小学校

### 東京

足立区立千寿常東小学校 足立区立平野小学校 板橋区立蓮根小学校 江戸川区立東小岩小学校 絵画造形サークル 葛飾区立亀青小学校 葛飾区立こすげ小学校 北区立岩淵小学校 光塩女子学院初等科 狛江市立狛江第三小学校 聖徳学園小学校 白百合学園小学校 新宿区立市谷小学校 墨田区立第三吾嬬小学校 墨田区立中川小学校 成蹊小学校 世田谷区立山野小学校 中央区立有馬小学校 中央区立常盤小学校 調布市立上ノ原小学校 帝京大学小学校 東京学芸大学附属世田谷小学校 東京都立大塚ろう学校小学部 東京都立大塚ろう学校／永福分教室小学部 東京都立大塚ろう学校／城東分教室小学部 東京都立墨田特別支援学校小学部 中野区立白桜小学校 練馬区立泉新小学校 練馬区立下石神井小学校 練馬区立立野小学校 八王子市立式分方小学校 福生市立福生第一小学校 町田市立南大谷小学校 瑞穂町立瑞穂第四小学校 港区立芝小学校 明星小学校 目黒星美学園小学校 マクタ作文教室

### 神奈川

川崎市立宮前小学校 川崎市立川崎小学校 川崎市立田島支援学校 桜校 川崎市立古川小学校 川崎市立梶ヶ谷小学校 川崎市立久末小学校 川崎市立下布田小学校 川崎市立中野島小学校 神奈川県立麻生養護学校／小学部 川崎市立野川小学校 川崎市立南野川小学校 横浜市立日野小学校 横浜市立日野南小学校 大和市立大和小学校 秦野市立大根小学校 秦野市立鶴巻小学校 伊勢原市立桜台小学校 秦野市立渋沢小学校

### 長野

飯山市立泉台小学校 飯山市立常盤小学校 須坂市立井上小学校 長野市立長沼小学校 長野市立西条小学校 長野市立青木島小学校 長野市立篠ノ井東小学校 長野市立中条小学校 上田市立傍陽小学校 小諸市立千曲小学校 安曇野市立穂高西小学校 諏訪市立四賀小学校 駒ヶ根市立中沢小学校 飯島町立七久保小学校 南箕輪村立南部小学校 飯田市立千代小学校 下條村立下條小学校 阿南町立富草小学校 阿南町立和合小学校 平谷村立平谷小学校 売木村立売木小学校 国立信州大学教育学部附属松本小学校

### 山梨

甲府市立北新小学校 山梨大学教育学部附属小学校 甲府市立新紺屋小学校 佐野絵画教室 山梨県立甲府支援学校 山梨学院小学校 甲府市立甲運小学校 富士河口湖町立河口小学校 富士河口湖町立大石小学校 山梨県立あけぼの支援学校

### 静岡

掛川市立東山口小学校 掛川市立中央小学校 浜松市立三方原小学校 浜松市立可美小学校 浜松市立佐鳴台小学校 浜松市立南の星小学校 浜松市立蒲小学校 川根本町立中川根第一小学校 島田市立島田第一小学校 焼津市立港小学校 静岡県立清水特別支援学校小学部 静岡サレジオ小学校 静岡市立清水興津小学校 牧之原市立相良小学校 静岡市立長田東小学校 静岡市立井宮北小学校 常葉大学教育学部附属橘小学校 静岡市立伝馬町小学校 伊東市立東小学校 伊東市立南小学校 伊東市立西小学校 伊東市立池小学校 伊東市立八幡野小学校 伊東市立富戸小学校 沼津市立浮島小学校 沼津市立門池小学校 中央区立宇佐美学園 伊東市立川奈小学校

■ 第48回 出品カード

作文	題 名		
版画			
学 年	性 別	フリガナ	
年	男・女	氏 名	
自 宅 住 所	〒 ー		
	☎( ) ー		
フリガナ			個人で応募の 場合は○を つけてください
小学校名 または 所属団体名			個人
小学校 または 所属団体 所在地	〒 ー		

キリトリ線

■ 第48回 出品カード

作文	題 名		
版画			
学 年	性 別	フリガナ	
年	男・女	氏 名	
自 宅 住 所	〒 ー		
	☎( ) ー		
フリガナ			個人で応募の 場合は○を つけてください
小学校名 または 所属団体名			個人
小学校 または 所属団体 所在地	〒 ー		

キリトリ線

キリトリ線

■ 第48回 出品カード

作文	題 名		
版画			
学 年	性 別	フリガナ	
年	男・女	氏 名	
自 宅 住 所	〒 ー		
	☎( ) ー		
フリガナ			個人で応募の 場合は○を つけてください
小学校名 または 所属団体名			個人
小学校 または 所属団体 所在地	〒 ー		

キリトリ線

■ 第48回 出品カード

作文	題 名		
版画			
学 年	性 別	フリガナ	
年	男・女	氏 名	
自 宅 住 所	〒 ー		
	☎( ) ー		
フリガナ			個人で応募の 場合は○を つけてください
小学校名 または 所属団体名			個人
小学校 または 所属団体 所在地	〒 ー		

2021年度 第48回 こくみん共済 coop 小学生作品コンクール

出品名簿

とりまとめ用  
(作文・版画)

いすれかに  
○をつけてください。

都県名

小学校名または団体名称(小学校は〇〇市立・私立等からご記入ください。)

フリガナ

小学校または  
団体の住所

電話番号 (                      )                      -

指導された先生のお名前

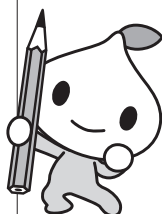
学年	組	性別	氏 名(フリガナも必ずご記入ください)			題 名			備 考		
年	組	男・女	フリガナ								
年	組	男・女	フリガナ								
年	組	男・女	フリガナ								
年	組	男・女	フリガナ								
年	組	男・女	フリガナ								
年	組	男・女	フリガナ								
年	組	男・女	フリガナ								
年	組	男・女	フリガナ								
年	組	男・女	フリガナ								
年	組	男・女	フリガナ								
年	組	男・女	フリガナ								
応募点数			1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計		
			点	点	点	点	点	点	点		
通 信 欄											

※ご記載いただいた個人情報は、「個人情報保護法」にもとづき、その取り扱いについて充分留意するとともに、当作品コンクール以外での使用目的では、一切利用いたしません。



第47回こくみん共済 coop 小学生作品コンクールの作品応募にあたり、作文については400字詰原稿用紙で5枚以内を基準とし、版画は木版・紙版・ドライポイントなど技法を問わず、大きさはA2サイズ以内としました。

審査にあたっては、1都9県のコンクールで各都県ごとに各学年金賞、銀賞、銅賞を決定し、そのうちの金賞作品を審査対象とする「中央コンクール」を行いました。応募状況は右表のとおりです。



## 第47回こくみん共済 coop 小学生作品コンクール応募状況

都県名	作文の応募点数	版画の応募点数	応募校数
茨城	225	1,230	34
栃木	48	373	19
群馬	55	260	15
埼玉	127	480	13
千葉	444	1,074	17
東京	125	1,434	38
神奈川	53	1,616	18
長野	61	511	22
山梨	24	197	10
静岡	235	636	28
合計	1,397	7,811	214

**第47回 後援** ●茨城県教育委員会・栃木県教育委員会・群馬県教育委員会・埼玉県教育委員会・千葉県教育委員会・東京都教育委員会・神奈川県教育委員会・長野県教育委員会・山梨県教育委員会・静岡県教育委員会・(株)水戸放送局・宇都宮放送局・前橋放送局・さいたま放送局・千葉放送局・横浜放送局・長野放送局・甲府放送局・静岡放送局・茨城県・茨城新聞社・茨城放送・上毛新聞社・埼玉新聞社・千葉テレビ放送・長野県・信濃毎日新聞社・SBC 信越放送・NBS 長野放送・TSB テレビ信州・abn長野朝日放送・山梨日日新聞社・山梨放送・静岡県・静岡新聞社・静岡放送・テレビ静岡

## これまでの作品テーマ

- |             |                            |         |             |                           |      |
|-------------|----------------------------|---------|-------------|---------------------------|------|
| ●1973年 第1回  | ○火事                        | (作文のみ)  | ●1994年 第22回 | ○わたしたちの大切な友だち             | (作文) |
| ●1974年 第2回  | ○はたらく人                     | (作文・版画) | ●1995年 第23回 | ○わたしの大好きなこと・大好きなもの        | (作文) |
| ●1975年 第3回  | ○たすけあい                     | (作文・版画) | ●1996年 第24回 | ○ぼくの・わたしの通学路              | (作文) |
| ●1976年 第4回  | ○仲間                        | (作文・版画) | ●1997年 第25回 | ○ぼくの夢・わたしの夢               | (作文) |
| ●1977年 第5回  | ○いのちをたいせつにする               | (作文・版画) | ●1998年 第26回 | ○ぼくの家族・わたしの家族             | (作文) |
| ●1978年 第6回  | ○遊ぶ                        | (作文・版画) | ●1999年 第27回 | ○たのしいこと・うれしいこと            | (作文) |
| ●1979年 第7回  | ○私の家族                      | (作文・版画) | ●2000年 第28回 | ○失敗したこと・うまくいったこと          | (作文) |
| ●1980年 第8回  | ○ぼくの失敗、わたしの失敗              | (作文)    | ●2001年 第29回 | ○不思議なこと・わからないこと           | (作文) |
|             | ○育てる                       | (版画)    | ●2002年 第30回 | ○好きなこと・やりたいこと             | (作文) |
| ●1981年 第9回  | ○夢中になってつくる                 | (作文)    | ●2003年 第31回 | ○ぼくのゆめ・わたしのゆめ             | (作文) |
|             | ○力をあわせる                    | (版画)    | ●2004年 第32回 | ○ぼくの・わたしの宝もの              | (作文) |
| ●1982年 第10回 | ○心を強くうたれたこと                | (作文)    | ●2005年 第33回 | ○ぼくの・わたしの大切なひと            | (作文) |
|             | ○働く                        | (版画)    | ●2006年 第34回 | ○ぼくから・わたしからの『ありがとう』       | (作文) |
| ●1983年 第11回 | ○父母(祖父母)と戦争                | (作文)    | ●2007年 第35回 | ○未来のぼく・わたしへ               | (作文) |
|             | ○元気に遊ぶ                     | (版画)    | ●2008年 第36回 | ○ぼくが・わたしが『できること』          | (作文) |
| ●1984年 第12回 | ○自然とともに                    | (作文)    | ●2009年 第37回 | ○ぼくの・わたしの『将来のゆめ』          | (作文) |
|             | ○道具をつかう                    | (版画)    | ●2010年 第38回 | ○だいすきなもの                  | (作文) |
| ●1985年 第13回 | ○助けたこと、助けられたこと             | (作文)    | ●2011年 第39回 | ○たのしかったおもいで               | (作文) |
|             | ○なかよしと                     | (版画)    | ●2012年 第40回 | ○たすけあい                    | (作文) |
| ●1986年 第14回 | ○私のまち・むらのくらし               | (作文・版画) | ●2013年 第41回 | ○もしも1つだけ願いがかなうなら          | (作文) |
| ●1987年 第15回 | ○おまつり                      | (作文・版画) | ●2014年 第42回 | ○ぼくの・わたしのたからもの            | (作文) |
| ●1988年 第16回 | ○くるまとわたしたちの生活              | (作文・版画) | ●2015年 第43回 | ○ぼくの・わたしの未来～こんなおとなになりたいな～ | (作文) |
| ●1989年 第17回 | ○動物とわたし                    | (作文)    | ●2016年 第44回 | ○わすれられないこと                | (作文) |
| ●1990年 第18回 | ○ぼく(わたし)の夢～大人になったら～        | (作文)    | ●2017年 第45回 | ○つづけていきたいこと               | (作文) |
| ●1991年 第19回 | ○たいせつなもの～自然や環境をどのようにして守るか～ | (作文)    | ●2018年 第46回 | ○どきどき・わくわくしたこと            | (作文) |
| ●1992年 第20回 | ○私と家族                      | (作文)    | ●2019年 第47回 | ○新しく挑戦をしたこと               | (作文) |
| ●1993年 第21回 | ○交通の発達とわたしたちの暮らし           | (作文)    |             |                           |      |

※第17回以降、版画は自由課題

たすけあいの輪をむすぶ

**こくみん共済〈全労済〉**

全国労働者共済生活協同組合連合会 coop

たすけあいから生まれた保障の生協です。

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。